

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 11 月 17 日

【評価実施概要】

事業所番号	387340073		
法人名	有限会社 エル・シー・エヌ		
事業所名	グループホーム 久万いこいの郷		
所在地	上浮穴郡久万高原町入野1726番地5 (電話) 0892-50-0037		
管理者	丸山 昭仁		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 8 月 29 日	評価確定日	平成 20 年 11 月 19 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 8 月 5 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 7 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	18 人	常勤 15 人, 非常勤 3 人, 常勤換算	17.3 人

(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	5,000 円	
敷金	有()円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有()円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		986 円	

(3) 利用者の概要 (平成 20 年 8 月 5 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性	7 名	女性	11 名
要介護 1	3 名		要介護 2	6 名	
要介護 3	5 名		要介護 4	3 名	
要介護 5	1 名		要支援 2	名	
年齢	平均 78.8 歳	最低 53 歳	最高	94 歳	

(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然環境に恵まれた場所にあり、地場産業である木材をふんだんに使った平屋建てのホームである。利用者も職員も比較的男性が多く、ゆったりと物静かで落ち着いた雰囲気がある。経営者と管理者、職員の連携がうまく機能しており、利用者の様々な要望に応えられる体制がある。協力医療機関からの24時間対応可能な往診の体制を整えており、健康面での安心感がある。

【質向上への取組状況】

▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

具体的に改善シートを作って改善に活かすまでには至っていないが、地域密着型サービスを意識して理念を見直したり、地域の意見を取り込む手立ての一途として運営推進会議のメンバーに民生委員を加えるなど、できることから改善に取り組んでいる。

▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

ミーティング時に項目を取り上げて話し合いを持ち、管理者がまとめている。さらに職員が自己評価のねらいを十分に理解して、各々の力に応じて丁寧に取り組む、具体的な改善につなげていくことができるよう期待する。

▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

町職員、地区長、民生委員など様々な立場の方に参加してもらい、幅広い意見交換ができるようにしている。行事報告や状況報告にとどまらず、高齢者介護に必要な基礎研修を実施するなど、内容に工夫を取り入れている。

▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

来訪時には積極的に声かけをしたり、家族会や運営推進会議に参加してもらい意見を聞くよう努力しているが、苦情や意見は寄せられていない。前年度からの課題であった外部相談窓口の明示を行い、家族が意見を述べ易いだけでなく、気がねなく不満や苦情を寄せられるような工夫をしてみることから始めていくことを期待する。

▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

20世帯ほどで組織されている地区会に入会し、地区の一員として清掃活動、敬老会、夕涼み会などに参加・交流している。散歩の途中で顔なじみのご近所さんが収穫した野菜や果物を持って立ち寄ってくれることもある。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
“愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
- 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。

- 「取り組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム久万いこいの郷

(ユニット名) ぐり

記入者(管理者)
氏名 丸山 昭仁

評価完了日 平成 20 年 8 月 5 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 運営理念として「いこい」の頭文字にちなんだ、親しみやすい内容を掲げている。 (外部評価) 地域密着型サービスとしてどのようにして地域に溶け込んでいけば良いか、職員全員で話し合い、地域という言葉を盛り込んだ事業所独自の理念を掲げている。		地域とのつながりを多くもてるように、組入りをして組での活動に参加している。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 玄関から入った正面に掲示し、日々取り組んでいる。 (外部評価) ミーティングはもとより、事あるごとに理念を具体化していくように意識し、話し合っている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 来客者の目に留まるところに掲示している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 畑づくりや散歩などの時に近隣の方々と会話や挨拶を行っている。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会へも入会し、地区の行事へ参加している。また地域の小学校との交流を持ち合同で花見等の行事を行っている。 (外部評価) 20世帯ほどで組織されている地区会に入会し、地区の一員として清掃活動、敬老会、夕涼み会などに参加・交流している。		自治会に入会、地歩祭やクリーンデイに参加しました。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 2ヶ月に一度に運営推進会議を開催し、民生委員や自治会長に参加を求めている。		運営推進会議を通して意見の取入れをしている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員全体の会議を月1回及び各ユニット毎のミーティングを月1回の間隔で行い、評価・改善に努めている。 (外部評価) ミーティング時に項目を取り上げて話し合っているが、職員が各自で自己評価に取り組んだり、改善シートを作成して具体的に改善に活かすまでには至っていない。	※	評価のねらいを十分に理解した上で、職員全員が各々の力に応じて丁寧に自己評価に取り組み、具体的な改善につなげていくことができるような取り組みを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 本年は2、5、7月に会議を開催している。7月の会議においては介護相談員も参加し忌憚のない意見を頂いている。 (外部評価) 町職員、地区長、地区民生委員など様々な立場の方に参加してもらい、幅広い意見交換ができるようにしている。高齢者介護に関する基礎研修を実施するなど、内容にも工夫している。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 地域ケア会議へ参加し行政及び他事業所との意見交換を行っている。 (外部評価) 毎月、地域ケア会議に参加し、勉強会も実施してサービスの質の向上に役立っている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在1名成年後見を活用している。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 地域ケア会議における学習会に参加し、施設内においても、その防止について機会があれば、その都度話し合いを持つようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約内容については口頭にて説明を行い、専門的な内容などについては補足、及び質問を受け付けながら時間をかけて理解をして頂くようにしている。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 月2回、外部の介護相談員の受け入れをし入居者との会話、日々の過ごし方などについて、ご意見等を頂いている。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 月1回出納帳及び状況報告書を送付し、必要に応じて面会時、または電話にて連絡を行っています。 (外部評価) 来訪時には積極的に声をかけ、暮らしぶりや健康状態などを詳しく報告している。金銭報告や介護計画については定期的に報告し、確認の印をもらっている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見、不満、苦情については随時受け付けております。またその内容について施設内の各種会議において協議しています。 (外部評価) 家族会や運営推進会議に参加してもらい意見を聞くよう努力しているが、前年度からの課題であった外部相談窓口の明示はまだ行っていない。	※	家族が意見を述べ易いだけでなく、気がねなく不満や苦情を聞いてもらえる第三者機関窓口の明示をしていくことが求められる。さらに、同じ悩みを持つ家族の会の紹介なども加えて、愚痴をこぼせるような機会を設ける配慮も期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 全体会議においてスタッフ及び管理者、運営者など施設全体についての協議、各ユニット毎の会議においては個別的な内容について意見や提案が出来るようにしています。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 勤務の調整が行えるよう人員の確保に努めています。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 職員の定着をよくするように努めております。退職時には入居者へのダメージを最小限にするように配慮しております。 (外部評価) 異動は比較的少ないが、やむを得ず異動がある場合は引き継ぎを十分できる期間を設けている。利用者はもちろん家族にも自然なかたちで説明している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 個々の外部研修への参加を奨励しています。計画的な職員研修の実施を行えるように努めたいと思います。 (外部評価) 県在宅介護研修センター、県社会福祉協議会、グループホーム連絡協議会など様々な機関の研修内容を開示して、段階に応じた研修が受けられるよう支援している。職員が受けたい研修会を自分で探して受けることも支援している。		本社にて、管理者と一部の社員に教育プログラムを活用して、研修を実施した。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 地域ケア会議や、行政の行う意見交換会には参加するように努めています。		※	運営者は、GHの運営者の集まりに参加して、合同での外出行事などを進めている。
			(外部評価) 地域ケア会議で他グループホームの方と顔を合わせる機会はあるが、地域内にグループホームが少なく、同業者としてのネットワークを組むまでには至っていない。			
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 本社の相談係りと連携しストレスの軽減に努めています。		研修旅行積み立てをしている社員は、グアム、中国に行きました。	
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 勤務表の作成においてはスタッフ個々の希望休などを事前に取り入れた勤務を作成するなど、研修会などへの参加がし易いように配慮しています。			
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査においてご本人、ご家族、その他関係者よりなるべく多くの情報を収集し、入居当初においては各スタッフより意見の収集をしご本人へアプローチをしています。			
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 入居当初においてはその状況を電話等を通じて連絡を行っています。			

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 事前調査後に、職員と話し合い、必要援助について協議している。		入居後の必要な支援については、随時協議し実施している。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族の希望に応じた入居を行っています。会話を持ち徐々に打ち解けるような対応に努めています。 (外部評価) 利用者及び家族に来院してもらって雰囲気に馴染んでもらい、納得した上でサービスを開始できるようにしている。自宅を訪問して家族から生活ぶりを聞き取ったり、入院先等に出かけて主治医等との会議にも参加している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 戦争の話や昔の慣習など機会をみつけて、話したり、教えを頂いたりしています。 (外部評価) 日々の生活の中で、農作業や調理など教えてもらうことがたくさんあり、常に人生の先輩として意見を聞かせてもらっている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 電話及び面会時に話す機会を多く持つようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 電話、面会、状況報告書にてご家族への意見交換が出来るように努めています。		遠方のご家族の方や疎遠のご家族の方にも新聞や写真などを送付し、少しでも近づけるよう取り組んでいる。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 電話、手紙、はがきなど書いて頂くように努めています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 関係がスムーズいくよう日々配慮をしています。		その方のレベルにより、コミュニケーションが難しくトラブルが発生することもあるので、職員が中に入り、支えあえるように取り組んでいる。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ホーム退所後も年賀状やホーム行事等への参加を呼びかけています。		実際のところ退去後の関わりが無いので、行事などの参加へ積極的に努めていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) センター方式によるアセスメントを行い意向の把握に努めています。また、各ユニットの会議においても近状について話し合いを持ち実施しています。 (外部評価) 入居時の聞き取りをベースにししながら、日常できる限りゆったりと側に寄り添って声かけをしながら、思いや希望、意向を把握しようと努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 定期的なケアカンファレンス及び日々の業務においても把握に努めています。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 健康チェック及び個別記録において日々の生活状況を継続的に把握しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) ケアカンファレンスにおいて話し合いを行っております。必要に応じて医療的な助言を関係者より頂いて、ケアプランへ反映しております。ご家族へは介護計画書の提供を行い、随時内容の変更、追加を受け付けています。 (外部評価) 月1回のユニット会議時に、利用者一人ひとりの様子や気づきを職員全員で出し合い、家族とのかかわりが深い担当職員から家族の意向も出してもらって、介護計画を作成している。		計画作成担当者の意見だけではなく、職員全員の意見をもっと取り入れ、よりよい介護計画の作成に取り組んでいます。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 著しいADLの変化及び退院時に即したケアプランの作成及び介護に努めています。 (外部評価) 3か月という期間を決めているが、ケアチェック表などを参考に、職員に意見を聞き1か月ごとに対応している。しかし、介護計画の評価の基となる情報内容が多いとは言えない。	※	介護計画の遂行状況や効果などを意識して日々の介護日誌に記録し、評価する上で必要な状態変化や状況、心の動きなどを的確に集積して見直しを行うことが求められる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 所定の記録用紙に日々の状況を記録し、ケアプランへ反映しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) お墓参りなど要望を取り入れ実現に向けて柔軟な対応に努めています。 (外部評価) 利用者、家族等の希望などにできる限り対応していく体制がある。家族も高齢の方が多いので、受診の支援はもちろんのこと、家族の来訪の支援、衣替えの季節には自宅まで着替えなど荷物を運搬する、短期入院時の洗濯物の世話などもしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 年2回の防火訓練の実施や施設で行う納涼祭などへ地域の参加に努めています。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 認定調査時に現状についての話し合いを持つ機会があり助言等を頂いています。		今後のためにも多方面に要請を働きかけたいです。
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) グループホームの特性について助言を頂き、それを活かした取り組みについて様々な意見を頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居時に協力医院への紹介は行っていますが、家族が最終的に決められるようにしています。また、必要に応じて専門医、総合病院への受診への紹介などをして頂いています。 (外部評価) 本人及び家族の希望するかかりつけ医の受診に関しては、家族が付き添う場合もそうでない場合も必ずバイタルチェック表など日々の状態がわかる記録を持って同伴し、適切な医療を受けられるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症状に応じて協力医院への相談、必要に応じて近隣の市町の専門医への紹介をしています。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 週1回看護師による健康管理及び相談を行っている。また勤務以外にも必要に応じて看護師へ電話を相談を行っています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) こまめに医師との話し合いの場を持ち、情報交換や相談に努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化した場合はその段階に応じて、主治医とも相談し適切な医療機関また介護施設への紹介をしています。 (外部評価) 看取りに関する指針、医療連携体制に関する同意書、緊急時対応マニュアルを備えており、24時間対応可能な協力医療機関を中心に、家族、職員で話し合っている。ケース毎に支援内容が変わってくるので、その都度話し合いを重ねている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ホームで出来ること・わからないこと等をかかりつけ医と相談し支援を行っています。重度化や終末期に備え他事業所との協力体制を整えています。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 生活暦などを細かく受け入れ先に情報提供し、住み替えのダメージを最小限に抑えるように努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 各種施設内の会議において周知しています。 (外部評価) 常に個人情報に対する守秘義務について確認し合っている。居室はプライベートスペースとして配慮し、声かけに関してはその方の尊厳を損ねることがないように注意を払っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 必要であれば、その都度話し合いを持つように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その日の心身の状況に応じて柔軟に対応するように努めています。 (外部評価) ホームとしての生活のリズムを基盤にしながら、利用者それぞれのその日その時の思いや状態を把握し、ゆったりとしたペースで過ごせるよう支援している。起床、食事のタイミングにも配慮している。		職員のペースで都合を優先している場合もあるので毎回の会議では、主役は入居者であると徹底している。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 理容院の出張サービスを実施している。パーマをかけたい場合等には、なるべく店へ行けるように配慮しています。		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来る範囲で後片付けの手伝いや下膳をして頂いています。スタッフも同じテーブルにて食事を摂っています。 (外部評価) 調理（下ごしらえ）、配膳、片付け、洗い物など、できることを無理なく手伝ってもらっている。お気に入りの席で利用者同士、職員も仲間に加わりおしゃべりしながら、残す方もなく食事を楽しんでいる。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 主治医との話し合いの上、飲食物を提供しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) オムツを使用している方についても、定期的なトイレ誘導、声かけを行い失禁による不快感にならないよう努めています。		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 夜間浴を実施し、スムーズな入眠につながるよう努めています。 (外部評価) 入浴が嫌いな方ではなく、職員の勤務時間を工夫して夕食後7時頃までに思い思いに入浴している。できるだけ同性で介助できるよう配慮している。		日常生活に即した夜間の入浴により1日の疲れを取れるように心がけている。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 全室個室により快適で自分らしい生活が送れるように保たれています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) ケアプランのアセスメントにより状況を把握し、楽しみや気分転換ができるよう外出行事などを毎月とれるように努めています。 (外部評価) 外食、映画鑑賞、プランター園芸、将棋、オセロ、喫煙、晩酌、化粧など、やりたいと思われることができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物や外出時能力に応じた対応が出来るか検討しています。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) その日の心身の状態、天候等を考慮し時間を見つけて散歩等を行っています。 (外部評価) スーパーなどに買い物に出かけたり、ごみ捨てに行ったり、近所の畑や田の周りを散歩するなど、日常的に外出の機会を持てるようにしている。		地域柄、遠方への外出が難しく、我慢している方もいるが、買い物時などを利用して個別に外出していただけるよう取り組んでいる。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 買い物や外出行事、地域との交流に努めています。		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 日中いつでも電話が出来るようにしています。		各部屋にいつでも電話できるように電話機を設置していますが、家庭事情により電話が出来ない方もいます。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) 原則、面会時間の制限は無いので、いつでも合えるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日頃より職員間で身体拘束の学習を行い一人ひとりが注意した介護をおこなっている。薬物拘束についても行わないようにDrとの連絡を密に行っている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間帯のみ戸締りで玄関の戸を施錠を行うが、居室には施錠は行っていない。 (外部評価) 鍵をかけないケアの実践に努めており、玄関、居室に防犯目的以外で鍵をかけることはない。		日中は鍵は一切かけずに自由に職員の見守りの中外に出れるように取り組んでいます。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ナースコールを設置、定期的な安否確認及び必要に応じて動作センサーを置いています。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 個々の認知症状に応じて物品の管理を行っています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやり・はっとを製作し、全体でのカンファレンスで事故防止を確認しています。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) AED講習などの受講も定期的に行っており、緊急時に備えています。		新しく来られた職員の方には、まだ研修等が来ていません。研修に行く職員と行かない職員がいるので、全員がいけるように会社で研修費を負担しています。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練を昼夜帯を想定し行っています。 (外部評価) 昼夜を想定した避難訓練を実施している。地域と連携した災害対策の必要性を認識しているが、実施には至っていない。	※	地域の組長には災害時の協力を求めています。実際の訓練時に地域住民の参加が無いので今後も、検討していきたいです。 周辺に新しい世帯も増えてきているので、運営推進会議の協力も得ながら地域との連携を図り、近隣住民と協同した訓練の実施を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 医療的な内容についてや、事前にご家族への承諾が必要な事柄について、電話等で確認をしている。		入居の際にはリスクについては、時間をかけて話しています。入居後は入居者に応じてリスクについて話しているが、全員の家族には話せていない。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 食事摂取量、排泄、水分摂取量、睡眠状態、その他健康管理上の異変がある場合は、医療機関への受診を含め適宜対応しています。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 配薬、服薬介助について担当を決めて誤薬等がないように努めています。また、副作用や効能等についても申し送りや文書による連絡にて周知しています。		職員につきバラつきがありますが、職員全員が薬について理解するように、会議などで職員全員に徹底している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄物の状態の確認、排泄の間隔については記録し、個々に応じた服薬の方法にて対応しています。また、水分量の把握や牛乳など摂取、腹部マッサージも随時行っています。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 口腔ケアの必要な方については、その能力に応じて援助の方法をかえて行っております。		歯科検診を年1回行っている。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 1日の記録にて摂取量の把握が出来るようにしています。必要に応じて摂取しやすい飲食物への変更を行い一定量の水分等が確保できるようにしています。 (外部評価) 必要量を目標に、食事及び水分摂取量を記録して管理している。さらにカロリーや栄養バランスをチェックできるような献立表の記載を考慮していくことを期待したい。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルにより対応の取り決めをしています。また、インターネットなどにより県内の感染情報の把握にも努めております。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 手指消毒の励行及び食材の冷暗所への保管を実施しております。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 扉の周りにプランターを設置し和やかな雰囲気を作っています。車椅子でも対応できるようにしています。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ソファの設置や畳コーナーの活用などにより、リラックスできる空間作りをしています。季節に応じた掲示物などの工夫に努めております。 (外部評価) 居間には自然の風が吹き抜け、日本の原風景のような景観を楽しむことができ、心安らぐ場所となっている。廊下、浴室、トイレは必要に応じた位置に手すりなどを配し、清潔で気持ちよく使える。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 共用スペースのベランダにベンチを置き1人や少人数にて過ごせる環境作りを提供しています。		イス、ベンチ、ソファなどをいろいろなところに配置し、1人1人の居場所作りに取り組んでいる。
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) ご家族やなじみの写真、使い慣れたなどを自由に置くようにしています。 (外部評価) 利用者の生活ぶりを思わせる写真や手芸品、整理ダンスや仏壇などが持ち込まれており、思い思いに過ごすことのできる居場所となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 冷暖房（床暖房完備）を軽便に使用できるようにしています。また、外気の取り入れや換気についても、窓の開閉、換気扇により通気が悪くならないように努めています。		地域がら空気がきれいなので、なるべく外気の取入れを行っている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) バリアフリーの構造になっており、手押し車の使用が容易になっております。また、個々の身体状況に応じて歩行が出来るように対応しております。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 口頭だけでなく、個々の能力に応じた伝達手段（文字や絵）で理解が出来るように努めております。		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 屋内からベランダまでは容易に行き来できるようになっております。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々の生活状況について把握するように努めている。入居者同士の会話なども参考にしている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	会話をする時間をとるように努めている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	基本的に自分のペースで生活を送られている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	楽しく生活を送れるようにしている。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	基本的には外出時に体調がよければ行っているが、介助の重度の方については十分でないところもある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	月1回の往診に加え必要に応じて受診を行っている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	要望に応じるように努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができていく	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	利用者ごとに担当職員が、必要に応じて連絡を取り、ご家族の要望を把握している。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	たまに畑で取れた野菜を持ってきてくれたり、お菓子など持って来てくれたりしてお茶などをしています。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議を通して地域の方々にも意見や助言を頂いたり、地域の行事への参加などのつながりも徐々に増えてきている。
98	職員は、生き活きと働けている	1 ほぼ全ての職員が (自己 ② 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員全員が生き活きと働けるような職場環境を目指している。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	「出来る限りここに居たい」と希望されている入居者の方々の声をお聞きする機会はある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	普段から連絡を取っているご家族については概ねご満足は頂いていると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

睡眠薬や安定剤の服用などにより、日中の体調が崩される方もおりました。個々の持っている能力やできる限り薬剤拘束を中止して、穏やかで安全に過ごされるように努力しています。

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

V. サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
 - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
 - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名	グループホーム 久万いこいの郷
(ユニット名)	ぐら
記入者(管理者)	
氏名	丸山昭仁・西岡 祥太(ユニットリーダー)
評価完了日	平成 20 年 8 月 5 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 運営離縁として「いこい」の文字にならって、誰もが分かりやすい内容を掲げている。 (外部評価) 地域密着型サービスとしてどのようにして地域に溶け込んでいけば良いか、職員全員で話し合い、地域という言葉を盛り込んだ事業所独自の理念を掲げている。		地域とのつながりを多くもてるよう、組入りをして組での活動に参加している。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念を皆が見やすい玄関に掲示して、一丸になり取り組んでいる。 (外部評価) ミーティングはもとより、事あるごとに理念を具体化していくように意識し、話し合っている。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 来客者も閲覧できる場所に掲示している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 施設の近くの方に畑をお借りして、家庭菜園を手伝っていただいている。散歩時に、お会いし挨拶、会話を楽しんでいる。		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地方祭など地域郷地に参加しているほか、自治会にも入会し、地域交流にも努めている。 (外部評価) 20世帯ほどで組織されている地区会に入会し、地区の一員として清掃活動、敬老会、夕涼み会などに参加・交流している。		自治会に入会、地方祭やクリーンディに参加しました。
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 2ヶ月に一度に運営推進会議を開催し、民生委員や自治会長に参加を求めている。		運営推進会議を通して意見の取入れをしている。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 月に2回のホーム内ミーティングをも置きホームでの改善点について話し合いを実施。 (外部評価) ミーティング時に項目を取り上げて話し合っているが、職員が各自で自己評価に取り組んだり、改善シートを作成して具体的に改善に活かすまでには至っていない。	※	評価のねらいを十分に理解した上で、職員全員が各々の力に応じて丁寧に自己評価に取り組み、具体的な改善につなげていくことができるような取り組みを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) ホームでの活動状況等について、毎回報告し、意見を頂いている。 (外部評価) 町職員、地区長、地区民生委員など様々な立場の方に参加してもらい、幅広い意見交換ができるようにしている。高齢者介護に関する基礎研修を実施するなど、内容にも工夫している。		
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 法律や制度等ホーム内にてわからないことや、困ったことの相談などにも乗っていただいています。 (外部評価) 毎月、地域ケア会議に参加し、勉強会も実施してサービスの質の向上に役立っている。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 現在、成年後見制度を利用中の方が1名います。利用にあたり、ミーティングにて職員皆で協議していました。		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 毎回のミーティングにて話し合いを行っています。運営理念にそった介護を目指しています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書の1項目ごとに丁寧な解説を行い契約・解約時は多くの時間を設け話し合いを行っています。		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 毎月2回の介護相談委員の方が訪問し、利用者となつぷりと関わってもらっています。利用者は家族のように職員に話をしてくれます。		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月、収納帳・状況報告書等をお送りしております。又、状況に応じて電話連絡を行っています。 (外部評価) 来訪時には積極的に声をかけ、暮らしぶりや健康状態などを詳しく報告している。金銭報告や介護計画については定期的に報告し、確認の印をもらっている。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族からの不満や苦情などは随時受けており、ご意見はミーティングにて題材にし、意見の反映にしております。 (外部評価) 家族会や運営推進会議に参加してもらい意見を聞くよう努力しているが、前年度からの課題であった外部相談窓口の明示はまだ行っていない。	※	家族が意見を述べ易いだけでなく、気がねなく不満や苦情を聞いてもらえる第三者機関窓口の明示をしていくことが求められる。さらに、同じ悩みを持つ家族の会の紹介なども加えて、愚痴をこぼせるような機会を設ける配慮も期待したい。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ホーム管理者等のみならず、本社職員が来訪し相談役としている。		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 全体的に余裕を持った雇用を行い、勤務帯の調整を努めている。		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 開所当初からのスタッフが約4割ほどいる。職員退職による利用者へのダメージを軽減するように日頃より個々に話をしている。 (外部評価) 異動は比較的少ないが、やむを得ず異動がある場合は引き継ぎを十分できる期間を設けている。利用者はもちろん家族にも自然なかたちで説明している。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員の研修を個々の能力に応じて行っています。 (外部評価) 県在宅介護研修センター、県社会福祉協議会、グループホーム連絡協議会など様々な機関の研修内容を開示して、段階に応じた研修が受けられるよう支援している。職員が受けたい研修会を自分で探して受けることも支援している。		本社にて、管理者と一部の社員に教育プログラムを活用して、研修を実施した。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 意見交換会や地域ケア会議等は積極的に参加しております。		※	運営者は、GHの運営者の集まりに参加して、合同での外出行事などを進めている。 少し地域を広げることも検討し、同業者とネットワークを組んで職員が訪問し合ったり勉強会を合同で行うなどの活動を通して、相互のサービスの質を向上させていく取り組みを期待する。
			(外部評価) 地域ケア会議で他グループホームの方と顔を合わせる機会はあるが、地域内にグループホームが少なく、同業者としてのネットワークを組むまでには至っていない。			
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 本社の相談係と連携し、ストレス軽減を出来るだけ取り組んでいます。		研修旅行積み立てをしている社員は、グアム、中国に行きました。	
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員の個々の状況や能力を把握して、適時に相談アドバイスを行っています。			
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前調査におき、本人の気持ちを理解できるようたくさんの時間をかけて話をしている。状況に応じケアマネ等が個別に相談に乗っている。			
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族との相談の機会を設けている。			

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 事前調査後に、職員と話し合い、必要援助について協議する。		入居後の必要な支援については、随時協議し実施している。
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族の希望に応じた入居を行っています。会話を持ち徐々に打ち解けるような対応に努めています。 (外部評価) 利用者及び家族に来院してもらって雰囲気に馴染んでもらい、納得した上でサービスを開始できるようにしている。自宅を訪問して家族から生活ぶりを聞き取ったり、入院先等に出かけて主治医等との会議にも参加している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 植物を育てたり、飲酒など個別に打ち解け易い環境作りを行っている。常に同じ目線にできるようにしている。 (外部評価) 日々の生活の中で、農作業や調理など教えてもらうことがたくさんあり、常に人生の先輩として意見を聞かせてもらっている。		
28		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 入居者の要望により、家族への電話、その他悩みの相談など聞いています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 家族宛てに年賀状や手紙を送り、遠くの家族との良い関係作りをしています。		遠方のご家族の方や疎遠のご家族の方にも新聞や写真などを送付し、少しでも近づけるよう取り組んでいる。
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 旧友等の訪問や手紙でのやり取りを歓迎しています。		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入居者同士の良好な関係が築けるよう努めています。		その方のレベルにより、コミュニケーションが難しくトラブルが発生することもあるので、職員が中に入り、支えあえるように取り組んでいる。
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) ホーム退所後も年賀状やホーム行事等への参加を呼びかけています。		実際のところ退去後の関わりが無いので、行事などの参加へ積極的に努めていきたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 個々の職員が入居者の立場に立ち、相談に乗り行動を読み取れるように努力しております。相談しやすい場所を提供しています。 (外部評価) 入居時の聞き取りをベースにしながら、日常できる限りゆったりと側に寄り添って声かけをしながら、思いや希望、意向を把握しようと努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 事前調査項目は、生活履歴の欄が多く、本人の昔話を多く聞くようにしている。		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) アセスメントシートにて記録し皆で把握を行っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 本人・家族の意見を参考にして、ここの意見を元にカンファレンスを持っている。 (外部評価) 月1回のユニット会議時に、利用者一人ひとりの様子や気づきを職員全員で出し合い、家族とのかかわりが深い担当職員から家族の意向も出してもらって、介護計画を作成している。		計画作成担当者の意見だけではなく、職員全員の意見ももっと取り入れ、よりよい介護計画の作成に取り組んでいます。
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 3ヶ月に一度にプラン見直しを行い、その時の状況に応じて、家族との連携・相談している。 (外部評価) 3か月という期間を決めているが、ケアチェック表などを参考に、職員に意見を聞き1か月ごとに対応している。しかし、介護計画の評価の基となる情報内容が多いとは言えない。	※	介護計画の遂行状況や効果などを意識して日々の介護日誌に記録し、評価する上で必要な状態変化や状況、心の動きなどを的確に集積して見直しを行うことが求められる。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 個々に記録してファイルして誰もが閲覧できるようにし、保管している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 家族の要望があればホームまでの送迎等を行い柔軟に対応しています。 (外部評価) 利用者、家族等の希望などにできる限り対応していく体制がある。家族も高齢の方が多いので、受診の支援はもちろんのこと、家族の来訪の支援、衣替えの季節には自宅まで着替えなど荷物を運搬する、短期入院時の洗濯物の世話などもしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 民生委員やボランティア等で来訪し他機関との協力できるように努めています。		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 認定調査時に現状についての話し合いを持つ機会があり助言等を頂いています。		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) ホーム内にわからないことがあり相談に乗っていただいています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 入居前に家族・本人と相談してかかりつけ医を決めています。 (外部評価) 本人及び家族の希望するかかりつけ医の受診に関しては、家族が付き添う場合もそうでない場合も必ずバイタルチェック表など日々の状態がわかる記録を持って同伴し、適切な医療を受けられるよう支援している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症に詳しい医師で適切な医療を受けています。		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 週1回看護師による健康管理及び相談を行っている。また勤務以外にも必要に応じて看護師へ電話を相談を行っています。		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) こまめに医師との話し合いの場を持ち、情報交換や相談に努めている。		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 個々の状態に応じてその都度に家族や主治医と話し合いを設けています。 (外部評価) 看取りに関する指針、医療連携体制に関する同意書、緊急時対応マニュアルを備えており、24時間対応可能な協力医療機関を中心に、家族、職員で話し合っている。ケース毎に支援内容が変わってくるので、その都度話し合いを重ねている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) ホームで出来ること・わからないこと等をかかりつけ医と相談し支援を行っています。重度化や終末期に備え他事業所との協力体制を整えています。		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 生活暦などを細かく受け入れ先に情報提供し、住み替えのダメージを最小限に抑えるように努めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個々のプライバシーの保護に日頃より努めています。 (外部評価) 常に個人情報に対する守秘義務について確認し合っている。居室はプライベートスペースとして配慮し、声かけに関してはその方の尊厳を損ねることがないように注意を払っている。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 日頃より入居者の方と相談しながら援助を行っています。認知度により、個々が自己決定が出来るような声掛けを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その方のレベルに合わせ、その方に合った支援を行っています。 (外部評価) ホームとしての生活のリズムを基盤にしながら、利用者それぞれのその日その時の思いや状態を把握し、ゆったりとしたペースで過ごせるよう支援している。起床、食事のタイミングにも配慮している。		職員のペースで都合を優先している場合もあるので毎回の会議では、主役は入居者であると徹底している。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 2～3ヶ月に一度の散髪や、外出行事にて入居者が気に入った洋服などを購入する機会を設けています。		金銭的な問題でなかなか望みどろりにいけない方もいるが、お金のかからないような身だしなみやおしゃれの支援に努めている。
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事の準備から片付けまで、入居者と一緒に行っています。 (外部評価) 調理（下ごしらえ）、配膳、片付け、洗い物など、できることを無理なく手伝ってもらっている。お気に入りの席で利用者同士、職員も仲間に加わりおしゃべりしながら、残す方もなく食事を楽しんでいる。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 個人の要望に応じ、支援を行っています。		糖尿病などにより難しい方もいるが適量で対応している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄のリズムを理解して、入居者がストレスを感じないように声掛け等の援助を行っています。		職員によりパットの交換が難しい場合があるが、職員の交代などによりスムーズできるように対応している。
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 入浴の時間帯は、どの入居者も夜間に入っていた方がほとんどで、夜間帯での支援を行っています。 (外部評価) 入浴が嫌いな方ではなく、職員の勤務時間を工夫して夕食後7時頃までに思い思いに入浴している。できるだけ同性で介助できるよう配慮している。		毎日は入浴できない時はあるが、希望者にはシャワーでも希望者に応じて行きたい。
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 基本消灯時間は、21時に設定しているが、個々に合わせてある程度就寝時間を自由に行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 個人の能力に合わせ役割持って頂いている。全員が楽しく行える援助を行っている。 (外部評価) 外食、映画鑑賞、プランター園芸、将棋、オセロ、喫煙、晩酌、化粧など、やりたいと思われることができるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個人の要望に応じ、小額の金銭を管理していただいている。		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 要望を聴き、戸外への外出を行っています。お昼の散歩は、日頃より行っています。 (外部評価) スーパーなどに買い物に出かけたり、ごみ捨てに行ったり、近所の畑や田の周りを散歩するなど、日常的に外出の機会を持てるようにしている。		地域柄、遠方への外出が難しく、我慢している方もいるが、買い物時などを利用して個別に外出していただけるよう取り組んでいる。
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 季節に応じ、ホームの近くへ花見やもみじ狩りなどを行っています。又、希望を聞き松山までの買い物なども入居者からは好評です。		レベルにより協力が難しい方もいますが、個々の意見を取り入れ支援をしていきたいです。
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 入居者の希望に応じ、家族・知人への電話を居室より行っています。場合によっては、葉書・手紙をお出しします。		各部屋にいつでも電話できるように電話機を設置していますが、家庭事情により電話が出来ない方もいます。
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) ホーム内にて普段より家族の方が訪問しやすいような環境作りを行っています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 日頃より職員間で身体拘束の学習を行い一人ひとりが注意した介護をおこなっている。薬物拘束についても行わないようにDrとの連絡を密に行っている。		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 夜間帯のみ戸締りで玄関の戸を施錠を行うが、居室には施錠は行っていない。 (外部評価) 鍵をかけないケアの実践に努めており、玄関、居室に防犯目的以外で鍵をかけることはない。		日中は鍵は一切かけずに自由に職員の見守りの中外に出れるように取り組んでいます。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 職員間で見まわりの大切さを理解し、安全に見まわりを行っている。		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 個人で管理するものと事務所で管理するものを、本人と相談しながら決定しています。		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやり・はつとを製作し、全体でのカンファレンスで事故防止を確認しています。		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 各自で定期的な研修を行ったり、マニュアルも作成し、緊急時に対応しています。		新しく来られた職員の方には、まだ研修等が出ていません。研修に行く職員と行かない職員がいるので、全員がいけるように会社で研修費を負担しています。
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 如何なる時でもあわせて対応するために、昼夜問わずの避難訓練を行っています。 (外部評価) 昼夜を想定した避難訓練を実施している。地域と連携した災害対策の必要性を認識しているが、実施には至っていない。	※	地域の組長には災害時の協力を求めています。実際の訓練時に地域住民の参加が無いので今後も、検討して行きたいです。 周辺に新しい世帯も増えてきているので、運営推進会議の協力も得ながら地域との連携を図り、近隣住民と協同した訓練の実施を期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 家族の方にも理解できるようにリスクの解説を行っています。		入居の際にはリスクについては、時間をかけて話しています。入居後は入居者に応じてリスクについて話しているが、全員の家族には話せていない。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 身体や精神状態を看護師が、変化に留意しています。職員も細かな変化に気をつけて、看護師に報告相談し対応しています。		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 職員よりひとり投薬担当のものを決め、服薬について理解をしています。		職員につきバラつきがありますが、職員全員が薬について理解するように、会議などで職員全員に徹底している。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 一日の水分量と排泄物を確認・理解している。便秘については、3日目より投薬にて排便を促しています。場合により、腹部マッサージを行っています。		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 個人に合わせ、口腔ケアを実施しています。		歯科検診を年1回行っている。
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個人の栄養状態を理解し、それに応じた支援を行っています。 (外部評価) 必要量を目標に、食事及び水分摂取量を記録して管理している。さらにカロリーや栄養バランスをチェックできるような献立表の記載を考慮していくことを期待したい。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) マニュアルを製作し、職員間で理解し予防に努めています。		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食品、食器に応じ、消毒をして衛生管理に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 扉の周りにプランターを設置し和やかな雰囲気を作っています。車椅子でも対応できるようにしています。		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家庭的であるように、季節に合わせた調度品を配置し和みやすい雰囲気を作っています。 (外部評価) 居間には自然の風が吹き抜け、日本の原風景のような景観を楽しむことができ、心安らぐ場所となっている。廊下、浴室、トイレは必要に応じた位置に手すりなどを配し、清潔で気持ちよく使える。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 和室、ソファ等配置し、誰もが自由に過ごせる環境を作っています。		イス、ベンチ、ソファなどをいろいろなところに配置し、1人1人の居場所作りに取り組んでいる。
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室に個々の私有物を持ち込み使用している。 (外部評価) 利用者の生活ぶりを思わせる写真や手芸品、整理ダンスや仏壇などが持ち込まれており、思い思いに過ごすことのできる居場所となっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 居室の窓を開け、1日に数回は空気の入れ替えを行っている。場合によりエアコンを使用。		地域がら空気がきれいなので、なるべく外気の取入れを行っている。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) リビング全体を、入居者の動線に合わせ、手すり等を設置している。車椅子同士の離合もスムーズに行えるよう広い廊下を設けています。		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) 個人の状況に合わせた声掛けを行い、個人の失敗や混乱の軽減に努めています。		入居者の個々の能力を見極め的確な支援をしていきたいです。
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) ウッドデッキ・中庭は、全員の共同スペースで、誰もが使用できるようにしています。		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	0 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日頃より、入居者・職員間での会話を重視して盛んに、コミュニケーションが取れている。特に、担当利用者とは担当職員同士で意思疎通が取れている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	一日の生活の中で、入居者と職員が家族のように会話できる時間をたくさん設けている。夜間帯での会話もよくあります。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々に時間があり、自分のペースで、生活しています。余暇に時間を投じる方もいます。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日頃より、職員・入居者同士での笑い声がたえず。楽しく、生活をしています。
92	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	介助の重度の方や遠方の自宅に帰りたいという希望には我慢されている方もいることもあります。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	訪問看護師の往診や状況に合わせた医療を受診します。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	基本的な介護を元に職員が利用者の要望に応じ、柔軟に支援を行っています。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族との連絡を密に取り要望、を把握している。だが、連絡の取るのが難しい家族とは密な関係作りには思案中です。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	居住地に近い方は来訪者がいらっしゃいます。しかし、遠方の方については、年々回数が減少しています。

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大に増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	自治会の入荷会により、ホームの活動に興味を持ち参加してくださっています。今後も、自治会の活動にも参加していき、関係を深めていきたいです。
98	職員は、活き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員より、「ここが一番よ」など、とてもホームに親しみをもっています。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	① ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	入居者より、「ここが一番」などと話をされています。サービスが入居者に伝わっているようです。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	よく理解されている家族もとても多いです。しかし、連絡が密でない家族もあり、説明をしていく必要があると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

入居された方は、初め慣れない土地での生活ともあって感情や精神が不安定になり、夜間時に不眠になりがちで睡眠薬や安定剤の服用されている方も多くおり、体調を崩される方も降りました。当ホームでは全員明るく元気に過ごす事、笑い、穏やかよ元に個々に合わせたサービスを目標にしています。そのためにも、当ホームでは出来る限り薬剤拘束を中止して、日々の生活の中で安眠精神の安定を図るように努力しています。